



女性社員の健康が
企業の成長を決める時代です



働き女子・ウェルネス・キャンペーンご案内

2020年1月



日経 **X** woman

日経 **AR/A**

日経 **d00rS**

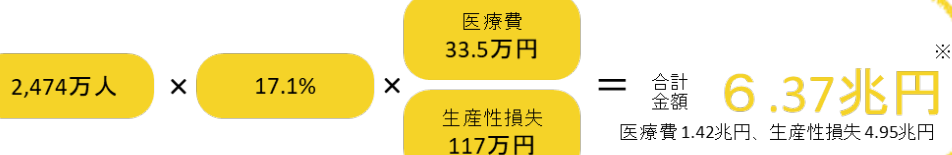
日経 **D**UAL



「働き女子のウェルネスキャンペーン」の背景①

女性の健康リスクは6兆円の経済損失

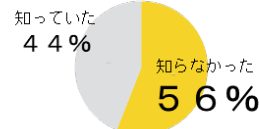
婦人科疾患を抱える働く女性の年間の医療費支出と生産性損失



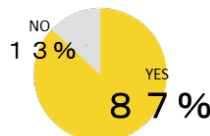
体型と婦人科疾患リスクについて6割が知らないと回答
BMI・体脂肪の数値は、月経・排卵・不妊・骨密度・子宮内膜症などの異常を予防する上で大きな意味をもっていますが、体型と婦人科疾患リスクについて、20～30代の働く女性1,022名のうち約6割が「知らない」と回答しています。このことが痩せすぎや太り過ぎを招き、生産性損失に直結する婦人科疾患のリスクを高めていると考えられます。

また、無月経などの婦人科疾患をすでに抱えている女性においては、朝食欠食習慣やベジタリアン傾向にあるなど、食生活や生活習慣についての正しい知識の機会提供が求められます。

体型と婦人科疾患リスクについて



知ったあと理想体型を意識し始めた



働き女子の実態

就業女性は、栄養・運動・睡眠不足の三重苦に陥る傾向に

保健室の調査結果では、就業女性は朝食欠食率が就業時間が長くなるほど高まり、活動量はレベルⅠが最多。平均睡眠時間は5～6時間と短く、栄養・運動・睡眠不足の三重苦に陥っていることが明らかになっています。また、それに伴う健康上の悩み（不定愁訴）や生産性の低下も目立ちます。

食生活

朝食欠食は体内時計のリズムを狂わせ、肥満・糖尿病・生活習慣病・うつ病など、様々な疾患リスクを高めることが明らかになっていますが、働く女性は労働時間が長引くほど朝食欠食率が高まり、約4割に上ります。また、オフィスの滞在時間が長いほどおやつ摂取過多により栄養失調に。

運動

まるのうち保健室の調査により、働く女性の約3割がロコモティブ・シンдрーム（移動機能の低下）が始まっていることが明らかに。とくに、内勤女性において発症率が高く、対策が求められます。

睡眠

働く日本女性の睡眠時間はOECD加盟国でもっとも短く、多くの女性が睡眠の質にも満足できていません。働く女性を対象とした介入研究により、1ヶ月のメソッド実施で7割の参加者が寝目覚めの良さを感じ、体調や生産性の改善/向上を感じる声が多く寄せられました。

まるのうち保健室の調査により、生産性に肌荒れや生理痛、精神的アップダウンが影響していることが明らかに。因子となる貧血対策等が重要です。

正しい知識の普及により自己管理スキルの向上を

「働き女子・ウェルネスキャンペーン」開発の背景②

日経BP総研と一般社団法人ラブテリが働く女性を対象に実施した「仕事と健康に関する調査」（回答者数1,027名）を通じて、

- ①健康に自信があるほど長く働き続ける自信がある
- ②健康で働き続ける自信のある人ほど生産性が高い
- ③健康で働き続けられる自信のある人ほど離職経験や検討経験がない

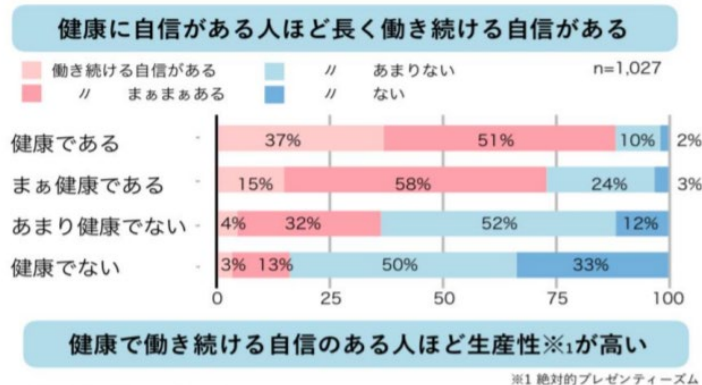
ことがわかりました。

※働く女性の仕事と健康に関する1000人調査

「働く女性の仕事と健康に関する調査」

対象：全国の20～69歳の働く女性1027人 正社員率77.7%。ほかに派遣、パートタイム、契約社員
方法：インターネット調査 / 63問のアンケート調査
期間：4月17日～5月13日
調査実施機関：日経BPコンサルティング 募集：日経BP女性メディア5媒体
(※1 日経WOMAN/日経ヘルス/日経DUAL/日経doors/日経ARIA) ラブテリSNS (Facebook等SNS)

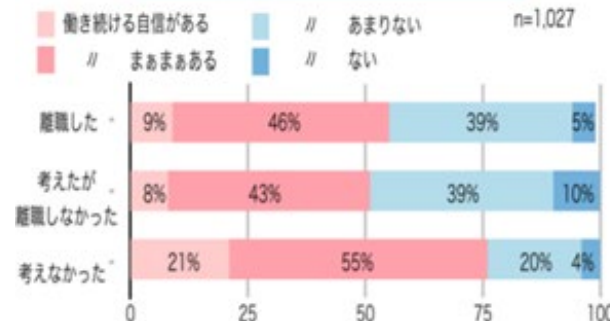
長く働き続ける自信 × 健康への自信



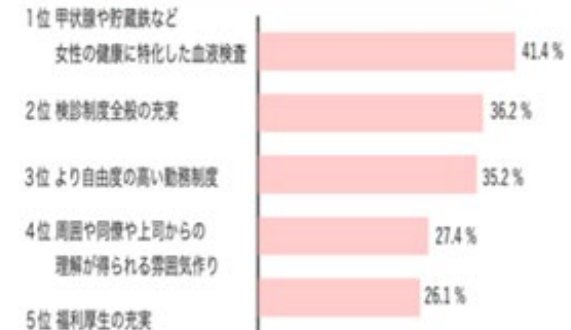
健康で働き続ける自信が「ある」「まあある」人 ⇒ 平均7.2点

*平均点は、10点を満点とした場合の自己評価

健康で働き続けられる自信のある人ほど離職経験や検討経験がない



健康的に勤務するために、勤務先に対して望むサポート施策ランキング TOP5



どうしても！

●キャンペーン全体監修・編集



日経BP総研 上席研究員
黒住 紗織

1990年日経BP社入社。『日経ヘルス』『日経ヘルスプレミアム』、編集委員を経て現職。著書に『わたしのカラダは私が守る 女性ホルモンの教科書』（共著、日経BP社）

女性が社会で活躍し続けるためには、ライフステージごとに変わる特有の心身の変化に対する知識を持ち、それを支える環境を作ることが必須です。

これまでは、企業もそして働く女性たち自身さえも“女性の健康”課題について、あまりにナイーブでした。女性の健康に関する当研究所の知見で多角的にメッセージを発信します。

働く女性のために 知ってほしいこと

その1

現代の若い女性は栄養不足であることを知ってほしい

その2

女性には生理があり、ホルモンバランスがかわる女性のカラダのことをもっと知ってほしい

その3

メタボ検診中心の健康チェックでは女性の健康は守れないことを知ってほしい

その4

働く女性が健康であれば、その会社は更に成長することを知ってほしい

●キャンペーン展開メディア

日経 d00rS
日経 DUAL
日経
AR!A

Webメディア連携



雑誌連携

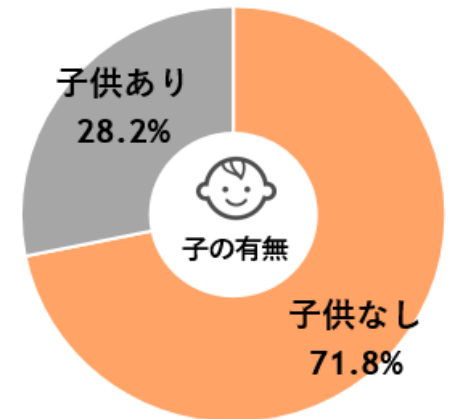
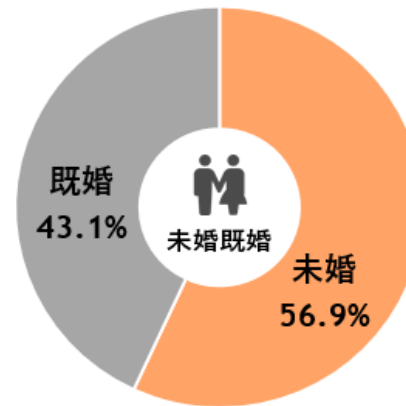
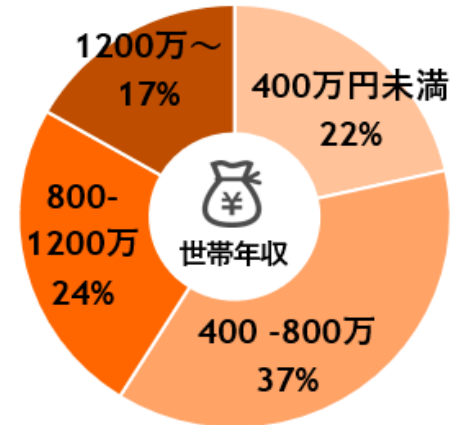
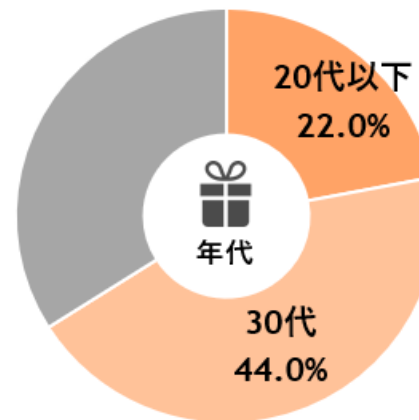


No.1 Health & Beauty雑誌
「日経ヘルス」

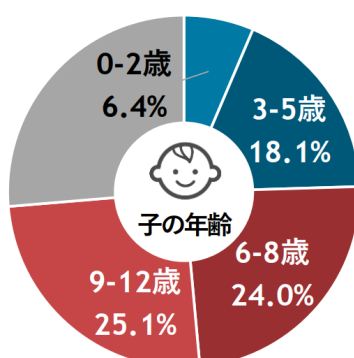
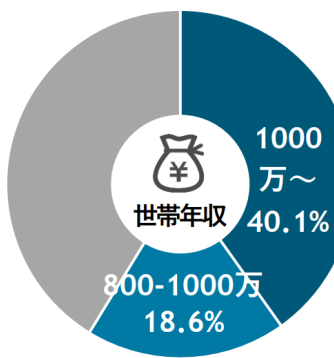
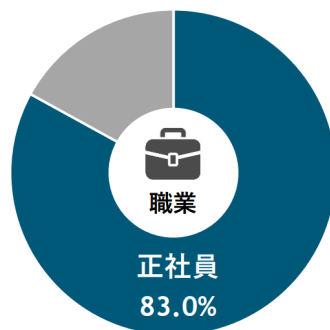
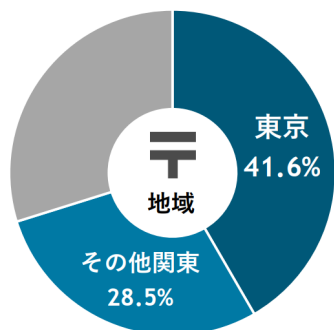
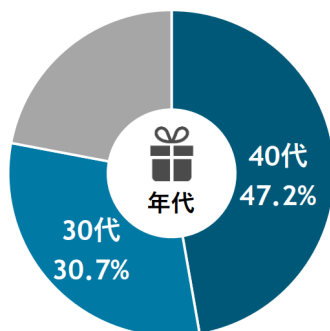
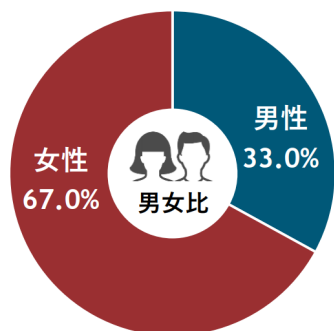


No.1 working women雑誌
「日経ウーマン」

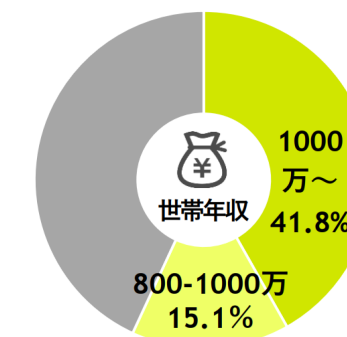
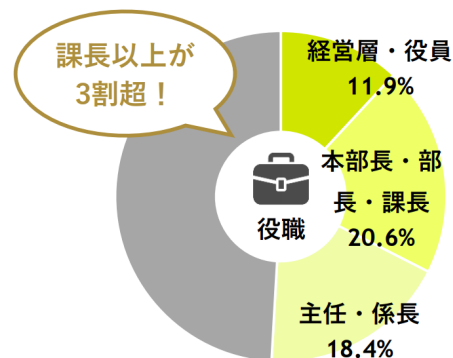
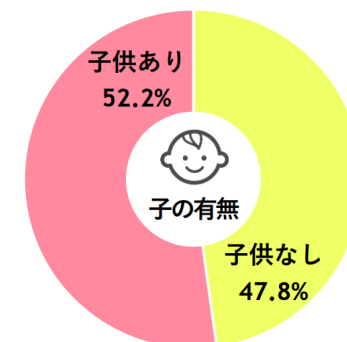
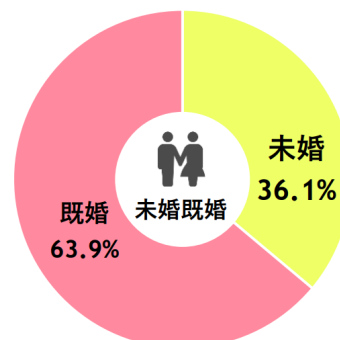
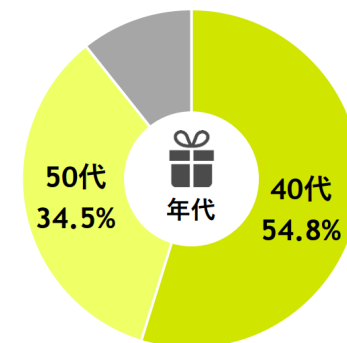
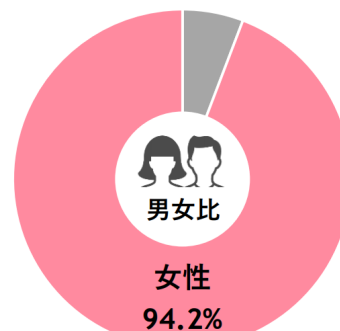
日経 d00rS 読者プロフィール



日経 DUAL 読者プロフィール



日経 AR/A 読者プロフィール



編集記事



特番サイト

日経 **woman** SPECIAL

正しい知識で自己管理

働き女子 ウェルネスキャンペーン

リスクは最小、幸せは最大！
人生100年時代に必要な3つのスキル

Smart Breakfast 筋肉貯金 腸活 ...

CONTENTS

本プロジェクトでは「マネー」「ヘルス」「教養」の3つのスキルをピックアップ。
リスクを最小限に抑えつつ人生を楽しむためのノウハウを訴求します。

HEALTH 高血圧は秋に注意... 日中風温で寒熱がたまる	MONEY 消費増税でPASMOのポ イント還元...手置き忘れ ずに	LIBERAL ARTS 社会学者の立市重孝...小 説では「未来の事象」を 読解
HEALTH 老人性いぼ...気になるな ら受診...美容で除去する 人々	MONEY 個人の資産形成...今から 「長期運用型」へ... 「薄上 高入」	LIBERAL ARTS 深まる秋を体感...黄金に 染まる夕久の絶景1の嵐 Nikkeiアラスカ1

Copyright © 2019 Nikkei Business Publications, Inc. All Rights Reserved.

日経おとなのOFF デジタルについて
お知らせ一覽 このサイトについて | リンクポリシー | 利用規約

タイアップ広告



働き女子・ウェルネスキャンペーン・テーマ&対象商品

テーマ・内容

Smart Breakfast Smart Snacking

働く女性の朝食の欠食率は、約4割におよび、様々な健康リスクの原因になるとともに、仕事のパフォーマンスにも大きな影響を与えています。そこで、忙しい朝の時間でも、手間をかけずに、必要な栄養がしっかり摂れる「Smart Breakfast」、おやつで必要な栄養素を補う「Smart Snacking」を提案します。

「腸活・新常識」

「腸活」は、日経ヘルスが、長年にわたり取り上げてきたテーマですが、近年、さらに関心が高まっています。腸内環境をととのえることが、日々の健康、美容だけでなく、将来の健康リスクにも大きく関係していることが次々と明らかになっているからです。腸活の新しい考え方、最新の研究成果を紹介します。

「カラダづくりから 始めようー妊活」

「妊活」は、30代女性にとって大きな関心テーマになっています。しかし、ともすると“妊娠すること”ばかりに気をとられ、カラダづくりのことが疎かになりがち。パートナーとともに、日々のライフスタイルを見直しカラダづくりから始める「妊活」の提案をします。

「筋肉貯金で カラダ美人」

「筋肉体操」や「#筋肉女子」が注目ワードになり、筋トレはアスリートのためだけのものではなくつつあります。ダイエットはもちろん、病気予防から肌のシミまで、筋肉を蓄えておくことは、いつまでも元気で美しくあるために重要であること、筋肉を育てる上で最も効果的な栄養、運動を紹介します。

対象商品・サービス

- ・朝食関連食品、フルーツ
- ・シリアル食品
- ・スナック、栄養補助食品
他

- ・乳酸菌、発酵食品
- ・食物繊維、水産品
- ・ヘルシーオイル
他

- ・葉酸、Fe 栄養補助食品
- ・栄養、健康管理サービス
- ・
他

- ・各種プロテイン、サプリメント
- ・大豆食品、たんぱく補給食品
- ・フィットネス機器・サービス
他

ネイティブタイアップ&プロモーション

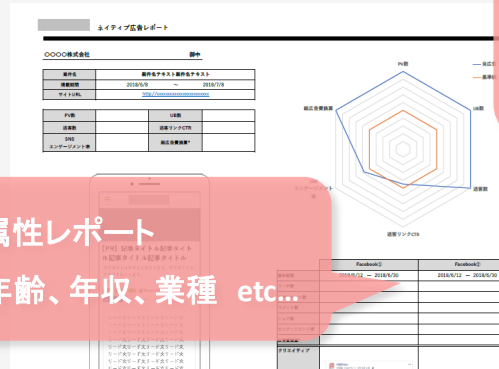
●日経doors・キャンペーンサイトでネイティブ広告を展開

積極的な外部流入

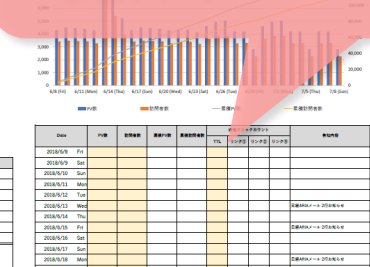


充実のレポート

- ・ 属性レポート
年齢、年収、業種 etc...



- ・ PV/UU/ページクリック
- ・ SNSエンゲージメント率
- ・ 評価チャート



●日経ウーマンエキスポで健康測定&サンプリングプロモーション



WOMAN
EXPO TOKYO
2020

開催期間: 2020年11月末~12月上旬

会場: 東京ミッドタウン 他

来場予定数: 7,000名(見込み)

健康測定



モニター・サンプリング



A.基本パッケージプラン

①ネイティブ広告展開

貴社商品の特性・コンセプトを踏まえたネイティブ広告記事を制作し、特集サイトに掲載します。

②ウーマンエキスポでのプロモーション

ウーマンエキスポ2020Winter で検診コーナー（働き女子保健室）を開設
貴社商品のサンプリング機会として活用できます

③働き女子ウェルネスプログラム（企業白書提供）

貴社の女性社員を対象としたWebアンケート調査プログラムを提供します
貴社の女性社員の健康実態がわかります * 詳細別紙参照

A. 3,500,000円（税別）

B.雑誌メディアパッケージプラン

上記基本パッケージ + 日経ヘルス、日経ウーマン
タイアップ広告（4 C 2 P）

* ネイティブ広告のコンテンツを流用して制作いたします

B. 5,000,000円（税別）

本企画に関するお問い合わせは、
〒108-8308 東京都港虎ノ門4-3-12 日経B P 日経B P 経済メディア広告部
TEL: 03-6811-8218

日経BP総研メディカルヘルスラボとヘルシー・マザリング・プロジェクトについて



日経BP総研 メディカル・ヘルスラボは、日経BPの調査・研究・コンサルティング部門で、医療や予防・健康分野を担当しています。日経メディカル、日経ヘルスなど日経BPの医療健康分野の専門誌編集長、編集委員などが専門知見を活かしながら、研究員として様々なプロジェクトに取り組んでいます。

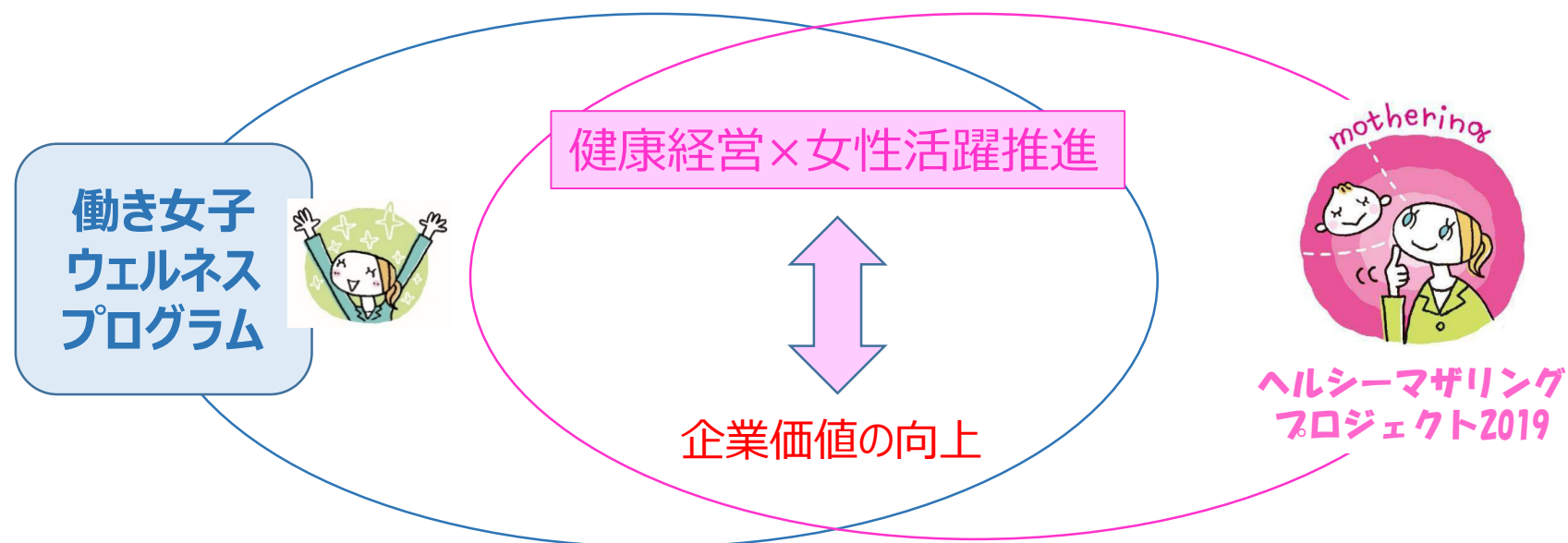
当ラボからスタートした「ヘルシー・マザリング・プロジェクト」は、働く女性の健康と次世代の健康をサポートするために、栄養・妊活に関わる社会課題の解決に取り組んでいます。

<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/DRS/19/mothering/>

■ 健康経営に取り入れたい女性支援策

- ☐ 健康診断に**女性特有の検診項目**を入れている
- ☐ **女性社員特有の健康に関連する制度**がある(生理休暇、不妊治療休暇など)
- ☐ 女性自身や男性を含む職場の**社員が、女性の健康に関して学ぶ研修**などの機会を設けている
- ☐ 女性特有の健康問題に関して**相談窓口**を設けている(提携産婦人科／オンライン相談など)
- ☐ 健康的な食生活が叶う**サポート環境**にある(朝食提供、社食、補食の提供など)

働き女子ウェルネスプログラムについて



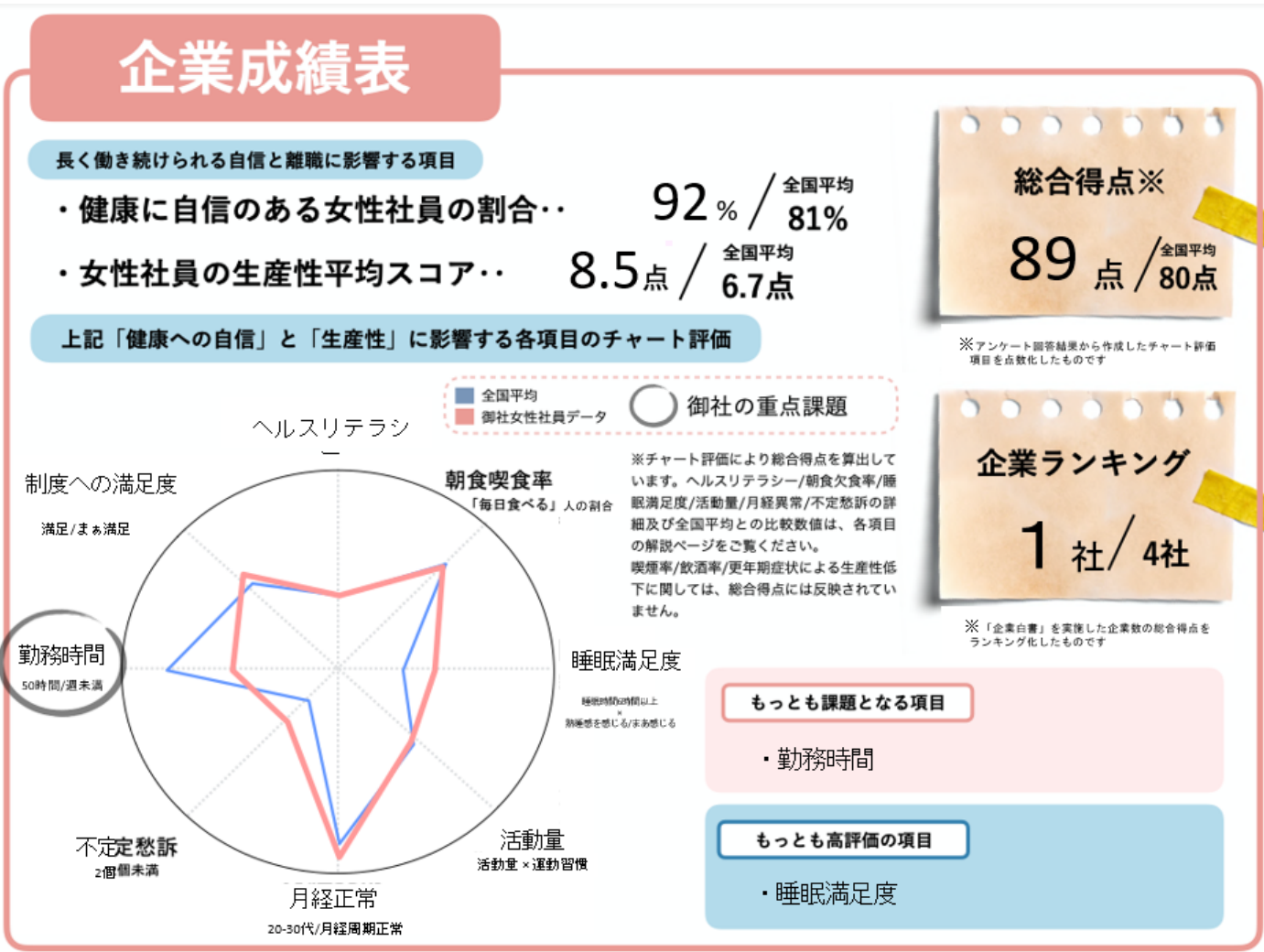
若い女性の行き過ぎた痩せ傾向に大きな健康リスクが生まれていることを社会的課題ととらえ、昨年度からヘルシー・マザリング・プロジェクトをスタートさせ、認知啓発活動を展開しています。このプロジェクトの一環として、日経BP、一般社団法人ラブテリが連携し、「働き女子・ウェルネス・プログラム」を提供しています。

働き女子ウェルネスプログラム「企業白書（健康課題レポート）」



「企業白書（健康課題レポート）」は、貴社女性従業員に匿名アンケートを実施し、全国の働く女性の健康データベースと照合、貴社女性従業員の健康課題を浮き彫りにし、今後、御社が取り組むべき施策のポイントを明確化します。

●通常提供料金：350,000円（税別）



「働く女性の健康と仕事の実態調査2019」 日経BP総研 メディカル・ヘルスラボ/一般社団法人ラブレッド